

トラック輸送における取引環境・労働時間改善 宮崎県協議会 議事概要

- 1, 日 時 平成29年2月28日(火)
13時30分～
- 2, 場 所 宮崎運輸支局 2階会議室
- 3, 出席者 委員 15名(別添出席者名簿のとおり)
事務局 労働局1名、運輸局1名、運輸支局2名、県ト協3名

4, 議事概要

事務局より協議会開催を宣言し、座長議事進行交代までの間、進行役を務める事を報告。

配布資料確認後、委員紹介については委員名簿及び出席者名簿で代える事を報告。

人事異動により変更となった委員(一般社団法人宮崎県商工会議所連合会 豊島美敏氏)について紹介

○九州運輸局濱田次長あいさつ

トラック運送業は、皆様ご承知の通り我が国の物流主軸を担う主要な産業であります。近年の少子高齢化、労働人口の減少により他産業同様に人手不足が深刻になってきている状況にあります。

さらに手待ち時間による長時間労働の常態化、適正な運賃が収受されないといったトラック業界固有の問題も大きくクローズアップされているところです。

これらの問題は、トラック事業者のみの努力では解決することが困難であり、荷主の協力を頂くということで、昨年度トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会を設置すると共に、都道府県においても地方協議会を設置し取引環境の改善、長時間労働の是正に向けた対応を協議頂いております。

協議会では、今年度、来年度の2か年でドライバーの労働時間短縮の実証を目的としたパイロット事業を行っているところで、課題の洗い出し、解決手段の検討、実証実験、効果検証等取りまとめを行っているところであります。来年度については、引き続きパイロット事業を行うと共に、全国で実施しましたパイロット事業約100件を取りまとめて労働時間短縮に向けたガイドラインの策定、検討を行うこととなっております。また、取引条件の改善についてもトラック事業者が荷主と公平な交渉を行えるよう「トラック運送事業者のための価格交渉ノウハウ・ハンドブック」を作成し、その活用を促進すると共に、国土交通省から農林水産省、経済産業省に対して荷主企業に対する働きかけを要請しているところであります。

現在、政府全体でトラック輸送等サービス産業の生産性向上に取り組んでいるとこ

ろであります。九州運輸局におきましても、今年1月に物流効率化政策推進本部を設置し、物流業者、海事の関係部署が連携してモーダルシフトの促進等物流効率化を支援しているところであります。トラック長時間労働の問題が深刻化すると我が国の物流機能が成り立たなくなるおそれがあります。そのような事態を避けるためにも荷主とトラック事業者の相互理解、協力関係の構築が重要となりますので、委員の皆様方にもご理解・ご協力をお願いする次第であります。

本日の協議会の議題は、平成28年度のパイロット事業の実施状況の報告と平成29年度のパイロット事業についてとなっておりますので、委員の皆様方には問題解決に向けて忌憚のないご意見を頂戴したいと考えております。

(事務局)

それでは、これからの議事進行は白石教授にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(白石座長)

この協議会も第5回目を迎えました。主要議題としてのパイロット事業について詳しく報告もあろうかと思いますが、来年度に向けて重要な取組になろうかと思われまので忌憚のないご意見を頂き、実りのある協議会にしたいと思います。どうぞご協力お願いします。

(白石座長)

それでは早速議事に入りたいと思います。
議題1「トラック運送事業の生産性向上・労働条件改善に向けた取り組み」について、事務局から報告をお願いします。

(事務局)

<資料1に添って説明>

(白石座長)

ありがとうございました。ただ今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

(伊藤委員)

荷主への働きかけの件ですが、末端の荷主まで実際浸透するのでしょうか。

(事務局)

九州運輸局、運輸支局、労働局、トラック協会を經由してあらゆる機会を捉えてリーフレット等を配布し適正取引を周知することとしています。また、運輸局、運輸支局に適正取引推進窓口を設置し、相談等があれば窓口で訪問いただいて詳しく説明する体制

等もとっているところです。周知徹底していきたいと考えています。

(白石座長)

せっかく作っていただいた資料ですので、できるだけ広く周知徹底をお願い致します。

(高石委員)

自主行動計画の進捗状況の中で、大手事業者に対し、「トラック運送事業の適正取引推進のための自主行動計画の策定を要請」と記載されているが具体的にはどのような内容でしょうか。

(事務局)

平成29年1月に全日本トラック協会において策定チームの会議を開催しており、そこで自主行動計画の策定をしていただいているところです。内容等については、次回以降の協議会で報告させていただきます。

(小野委員)

資料1-1の基本的な考え方として、「生産性を向上しなくてはいけない」、「労働条件を改善しなければならない」、そうすることでドライバーの拘束時間を減らしていくということですが、今、話題になっている年間残業時間の規制、働き方改革については資料に示されていない。まだ決まってはいないことではあるが、早めに考えていただきたい。

2年前に九州トラック協会各県に長距離部門のデータを頂いたが、関東向けの27運行については3日運行～8日運行まであり、そのほか労働時間が極めて長いので計算してみると、今現在出来ているような回数はとても出来ない。ドライバーを増やす事もままならず、おおむね15～20%輸送力がダウンする試算となる。これをどう改善するか、単なる仕組みの改善だけではなくドライバーがこの産業に来てくれるような給与水準も含めて、真剣に考えていかないと産業が衰退していく事となります。

(白石座長)

非常に重要なご指摘を頂きました。この問題意識を、委員の皆様方で共有していかなければならないと思います。

(白石座長)

それでは次の議題に移ります。議題の2、「平成28年度パイロット事業の実施結果」に移ります。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

平成28年度パイロット事業については、厚生労働省の委託事業として、宮崎県経済連他各社の協力を頂きながら日通総合研究所に実施していただきました。昨日、3回目の検討会を実施していただき、おおむね報告書がまとまったということですので、(株)日

通総合研究所金澤様よりご説明いただきます。

(日通総研)

<資料2に沿って説明>

(白石座長)

ありがとうございました。只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

(菅野委員)

予冷庫に在庫を持つと言うことでありますが、通常15時からのトラックの積み込み時間が早くなるということであれば運転手さんの拘束時間が更に長くなるのではないのでしょうか。

(日通総研)

従前も積み込み開始以前に各農協を回ったりしているので、15時から運行がスタートしている訳ではありませんでした。運行時間自体は大きく変わらなくても、慌ただしい運行にならない、あるいはフェリーに乗れないリスクが無くなるといったところが大きな効果だと考えます。

(菅野委員)

予冷庫を作るとなるとコストアップ、パレット化についてもコストアップや規格の統一化が課題だと思います。

(日通総研)

パレット化については農水省が推進していく方向が出てきているところでもあるので、その中でパレットの規格についても議論がされてくるだろうし、パレットの効率的な運用や費用負担、レンタルシステムの構築等おそらく議論されていくのではないのでしょうか。

(小野委員)

九州全体の農産物は、採れたて、翌々日東京競りが前提となっており、これが3日目売り、4日目売り出来るならといつも言われています。今回の実験はピーマンであり、ある意味、可能であるかなと思いますが、これが葉物だとどうかなと。出来ることであれば出荷団体の方でも良いので4日目の品質について科学的な検証を是非お願いしたい。

今回はフェリーの利用を確実にするための対策として、集荷の問題は大切なポイントだと思います。ただ、フェリーに乗れず高速を使わざるをえないような運行がどれだけあったのか、実態を確認させてください。

予冷庫については3日を4日に変えていくだけの能力はおそらく無いだろうと思われ、それに対する設備投資が高くなるので、課題としてあげた方が良いのではないのでしょうか。

か。

小ロット市場の問題もあります。1箇所10～20ケース、長距離運転手はそれを何カ所も回って競りに間に合わせなければならないので、休憩等取れる状況ではありません。出荷団体の対策としては100ケースを下回るようなロットを避けて少なくとも200ケースにする等取り組んでいかれると良いのかなと感じました。

パレット化の推進については、手積みで1300ケース積んでいたものがパレット化になると1000ケースになり、3割程度積載が落ちます。運送契約がkg契約であった場合運賃が下がることとなり、車扱い運賃だと荷主のコストアップとなります。3割アップの運賃に耐えられるのか、そういった議論も必要であると考えます。

(日通総研)

フェリーに乗れないケースについては乗船できないリスクを未然に防ぐ事が1つの大きな目的としてありました。頻度が高い低いでなく、長時間運行は違反となりがちなので頻度が上がらないことにこしたことはないといったことが、ひとつの問題意識としてあるというふうにご理解頂きたいと思います。

予冷庫のコストについてはご指摘のとおりであり、今後あらゆる物で4日販売を可能とするだけの予冷庫キャパがあるのか、予冷庫が各農協で持つことが出来るのか、予算・手当を含めて議論していかなければならないかと考えます。

運賃については現在の輸送契約内容を把握しておりませんが、パレット化に伴い、今後の話として、運送契約の見直し等も1つの課題かと考えます。

(白石座長)

野菜の種類によって予冷をすることによっての鮮度の劣化実証も可能であればお願いしたいと思います。

(伊藤委員)

フェリーに乗船できない状況を報告しますと、個人的な感覚ではありますが、毎日青果物に限らず、キャンセル待ちのトラックが常時5～6台、多いときは10台位はあるように感じています。フェリーの大型化の促進や、早目の出荷をして頂いて早めに積み込みを終えて輸送手段を決定することが有効な方法ではないかと思えます。パレット化については関東だと神戸までフェリーで行き、そこから7～8時間運転して1000ケース以上のものを手おろししているのも早めにパレット化を促進していただきたい。

また、フェリーが運休の時の出荷体制について荷主側の協力を引き続きお願いしたいことと、年末年始にJRは運休するが、帰り荷のない中でトラックが運行せざるをえない実情もあることをご理解願いたい。

今後、中継輸送が広がっていくと思いますが、地方の中小零細企業が出先を作ることが難しいので、行政の支援、協力をお願いできればと思います。

(小野委員)

宮崎県内のフェリー輸送は宮崎港の他、南は志布志、北は大分ということであり、昨

年からRORO船が静岡に就航していますが、大半は運転手は乗っていかない所以他社が運ぶこととなります。リレー輸送的な感覚で行うことは、大きな効果があると思います。

国交省が行った中継輸送実証実験モデル事業では東京、大阪、東日本の都市部を対象としておりますが、西日本、九州地区でも是非、九州運輸局で先頭を切って各県に紹介して頂き、陸路だけの中継輸送ではなく港での輸送も含んだ事業をやっていただきたい。

(廣瀬委員)

今回のパイロット事業に荷主として参加させていただきましたが、一括集荷や取引先についても集約化に努めさせていただいております。4日目販売については部分的にすでに取り組んでいる品目もあり、それらについては今のところ問題ありませんし、あえて消費者に対して4日目販売と周知する必要もないかと思いますが、品目によっては鮮度を重視するものもあるので、その面での検証はやらせて頂きたいと思います。

4日目販売が効果的であるとの提言も受けたところであるので、我々としては生産者に理解を得なければいけないところもありますが、ゆとりある形での輸送体制構築を促進していきたいと考えております。

(伊藤委員)

今回は有意義な形でパイロット事業が出来たのではないかと思います。今回は上りの青果物輸送だけでしたが、次年度は、より広い範囲・視野で実情を踏まえた事業をお願いできればと思います。

(白石座長)

それでは次の議題に参ります。議題3の「平成29年度パイロット事業について」についてですが、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

平成29年度パイロット事業については、予算、対象についてもまだ決まっていないところであります。とは言いつつも平成29年度の早い段階から事業に取り組みたいと考えております。今年度の結果を踏まえつつ、白石座長と相談の上、事務局で対象集団選定させていただければと考えております。

(白石座長)

ありがとうございました。平成29年度のパイロット事業について対象集団の選定にあたっては、提案のありました通り事務局一任ということでよろしいでしょうか。

<全員：異議無し>

(白石座長)

それでは次の議題に参ります。議題4の「過労死防止対策」についてですが、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

<資料3に添って説明>

(白石座長)

ありがとうございました。只今の説明にご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。

(白石座長)

それでは次の議題に参ります。議題5の「その他」についてですが、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

<資料4に添って説明>。

前回の第4回地方協議会において、リーフレットの周知、地方協議会名で発出することをご了承いただいたところです。本件につきましては昨年10月下旬～11月上旬にかけて荷主団体194団体、各事業所248社、労働局、トラック協会より配布させていただいております。時期としては11月の過労死等防止啓発月間にあわせて配布させていただきました。

(白石座長)

その他、事務局から何かありますか。

(事務局)

特にありません。

(白石座長)

ありがとうございました。議題も全て協議が終わりましたので、これをもちまして本日の議事は終了したいと思います。委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。本日委員の皆様から頂戴しましたご意見は、次回協議会における検討課題に反映して頂きますよう事務局をお願いします。

(事務局)

白石先生、ありがとうございました。

委員の皆様方におかれましては長時間にわたり熱心なご意見等いただきありがとうございました。本日いただきました貴重なご意見は、今後の協議会に活かしてまいりたいと思います。

なお、本日の協議会の議事録につきましては、事務局にて作成のうえ委員の皆様にご確認頂き、九州運輸局のホームページにて公表させて頂く予定となっております。また、第1回から第4回までの協議会の議事録につきましても九州運輸局のホームページに公

表されておりますので、お知らせいたします。

また、次回の開催は、年度がかわってからの開催の見通しです。追って日程等を調整させていただきますのでよろしく申し上げます。

本日は、長時間の議論、誠にありがとうございました。

15：10閉会